

第19回協働実践研究会

2012年2学期の研究会を振り返る。

[第16回研究会]日時:9月28日(金)

授業報告 発表者:金志宣先生(梨花女子大学所属)「時事日本語」での試み
倉持香先生(弘益大学)「初級日本語」での学習者の雰囲気と態度に関して

[第17回研究会]日時:10月26日(金)

授業報告 発表者:角ゆりか(祥明大学所属)「日本語会話IV(就職希望者クラス)」での試み

[第18回研究会]日時:11月23日(金)

授業報告 発表者:早矢仕智子先生(大真大学所属)「ビジネス日本語」での試み

<報告書 <http://www.freeml.com/peerlearning/>> 第18回の分は近日掲載予定

2013年度の研究会について

- (1)日時について・・・ 基本的には毎月一度、第4週目に行う。日程調整は2週間前ほど大森先生が「フリーメール(決め太郎)」を会員に送り、参加希望日を聞き、希望が多い日に行うことにする。
- (2)場所について・・・ 今まで通り弘益大学を使用する。
- (3)内容について・・・

<授業を考える>

- ・協働学習について基本を勉強したい。「グループワーク」と「協働学習」の違いは何か?
- ・どうやったら協働学習を成功させることができるのか。
- ・論文「授業報告」を読んで、様々な教育環境へどのように取り入れるのかを検討したい。

<研究を考える>

- ・研究している人がマスト論文を挙げ、それらを読みながら協働学習についてディスカッションする。
- ・韓国、日本、それ以外の国での協働学習の動向を知る。
- ・協働学習だけではなく韓国の教育で注目されている教授法について論文を通して知りたい。
- ・分析ソフト(SPSS, AMOSなど)の使用法を勉強したい。→講師を呼んで行う。
- ・協働学習を知っている人にワークショップなどを開いてもらいたい。

決定事項

奈呉先生、金先生、倉持先生が論文を持ち寄り、それらを読みながら協働学習について考える場を持つ。